

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年 3月 10日

研究・研修課題名	研究助成 資格取得 検診マンモグラフィ撮影認定技師 資格 受験
研究・研修組織名（所属）	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師（所属：放射線部）
研究・研修責任者名（所属）	山本 泰司（所属：放射線部）
共同研究・研修者名（所属）	景山 紗貴（所属：放射線部）

目的及び方法、成果の内容

①目 的

乳がんは日本女性の悪性腫瘍罹患率第1位、部位別死亡者数では大腸、肺、胃に次いで第4位であり、早期発見・早期治療により予後のよい疾患である。しかし、初期段階では症状がなく罹患者が自覚した際には進行している場合が多く、40代以上では罹患率が上昇する。その為、乳がんを初期段階で見つけるため一定年齢以上の女性は定期的な検診が重要となる。

現在日本の乳がん検診はマンモグラフィを用いている。検診を有用なものとするためより良いマンモグラフィの撮影が必要となり、撮影技術の向上はもちろんのこと装置や画質の管理も重要となる。そこでマンモグラフィの技術、知識向上のためNPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構が行なっているマンモグラフィ認定技師の資格取得を目指し、日常診療において精度の高い画像を提供できるようにすることを目的とする。

②方 法

下記のマンモグラフィ技術講習会に参加し、日本乳がん検診精度管理中央機構技術試験を受講する。

主催：公益社団法人 日本放射線技術学会 撮影部会

共済：公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿支部

共済：NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構・教育研修委員会

開催日時：平成28年11月26日(土)～11月27日(日)

第1日 8:30～19:00

第2日 8:30～16:00

会場：神戸総合医療専門学校

③成 果

第79回乳房撮影ガイドライン精度管理研修会に参加し、日本乳がん検診精度管理中央機構技術試験を受講した。日本乳がん検診精度管理中央機構の評価基準に基づき、読影試験・筆記試験が行われ、マンモグラフィ認定技師の資格を取得した。

マンモグラフィ検診認定技師としての自覚を持ち、品質管理を定期的におこないながら、技術・知

識ともによりいっそう向上し、より良いマンモグラフィを提供することで地域の乳がん死亡者数の低下のため寄与できるように努力していきたい。

この講習会は実習が多く、より実践的で有意義であった。更には他施設の方々の今後の情報提供の機会ともなった。

*NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構

日本乳がん検診精度管理中央機構技術評価票 受領済 【2016年11月27日】